

平成22年度 兵庫県立兵庫高等学校 学校評価表

1 学校教育目標	
創立以来、培い育ててきた「質素剛健・自重自治、これを貫くに至誠をもってす」の精神を日常の指導に具現し、先輩の築いた栄誉ある伝統を踏まえ、21世紀に生きる有為の人材として必要な資質を育成する。	

2 学校経営計画	
(1) 心の教育の充実を図り、「生きる力」の育成に努める。	(2) 自主自立の精神を養い自ら学ぶ力を育てる。
(3) 進路指導の充実に努め、進路選択能力を養う。	(4) 文武両道に励み、健康で豊かな生活を実現する態度を養う。
(5) 家庭・同窓会・地域社会との連携を深める。	

3 本年度の重点目標	
(1) 「質素剛健・自重自治」の具現化	(2) 文武両道を目指す
(3) キャリア教育の充実	(4) マナーの向上

4 評価表

領域	評価の観点	評価項目	番号	具体的方策(実践目標)	評価	成果と課題	学校関係者評価	関連生徒アンケート番号	関連保護者アンケート番号	
学校経営	開かれた学校づくり	保護者・卒業生・地域への情報発信	1	ホームページの更新を実施し、常に新しい情報の発信を心がける	B	更新されている分掌もあるが、まったく手のつけられていない分掌もある。/携帯に対応したページにすべきである。デザインなども外注してはどうか。「1年のあゆみ」をウェブ化するなどすれば、費用もまかなえると思う。/そんなに更新されていないように思ったので。		2	2	
			2	学年通信を通じて、学校行事の取り組みと成果、進路情報等を保護者に伝える	B	1、2、積極的に攻めに使えるとよい。				
		学校紹介の推進	3	学校訪問や学校説明会、オープン・ハイスクールを実施して、広報活動をする	B	広報活動を充実してことで兵庫高校の姿は伝えられた。/係の先生の意識は高い。職員全体で高い意識で取り組みたい。				
			4	パワーポイントなどの視覚的な機器を用いての学校の概要説明、在校生による体験談の発表、授業見学、部活動見学を通じて、本校の特色を理解してもらおう	B	3、4、前年に比べてかなり良くなった。担当者の努力に感謝。				
	教職員の資質向上	情報機器の活用の推進と能力の向上	5	ファイルサーバーによって文書を共有化し、管理を徹底する	B	管理が各分掌に任せきりになっているような気がする。/共有フォルダの活用ができていない。/以前より使いやすくなった。/5、6、7、「情報」というものが(各部署ごとにそうだが)特定の人だけにしかわからなくて、「学校」という組織単位で共有化されていないように思う。	大学でも問題になっており、大変だと思う。			
			6	各種委員会(人権、教育相談、情報など)や研究授業を実施する	B	研究授業の実施が少なかった。協会外の人権や安全教育も大切な課題なので、LHRを使って実践を進めたい。/教科主導で研究授業を行ってほしい。他の先生方に授業を見ていただき、指導してほしい。/研究授業が行われていない。/研究授業をするには、校務が多忙すぎる。/データのバックアップ等の管理が大切になってくる。				
			7	評価ソフトの見直しと開発	D	評価ソフトの見直しと開発に関して、評価ソフトの見直しは以前にも議論したが、評価方法が変わらないので現状のままということになった。評価ソフトの見直しは評価の見直しにつながるの、その議論がある。また開発に関しては授業の間の時間等では難しい。/評価の見直しをしていただきたい。/教員がすべきこととは思わない。/評価は10年以上前から見直しが行われているが結局変わっていない。/国政システムから、将来への動きが見られない。/第II評価の見直しをすべきである。/定期考査のみによる第I評価の設置自体に問題点が多くあるが関係する分掌で検討されていない。/評価も含めて改善できるとよい。/評価ソフトについて要録までつながっていく様に考えて欲しい。				
	危機管理体制の整備	防災教育職員研修会の実施	8	2月に実施する研修会を継続し、「地震防災・危機管理マニュアル」にそって危機管理体制を整備し、職員の共通認識を深める	B	特色選抜や松江二中が訪問する合間に行うのはなかなか難しいので他の時期も検討すべきかもしれない。				
			9	防災避難訓練を実施し、緊急時対応マニュアルの徹底を図る	B	マニュアルがあるが、先生方は意識できているか不安。				
	適正な予算執行	経理事務の厳正化	10	複数人によるチェック体制を強化し、マニュアルを厳守して会計・物品管理事務を適正に執行する	B	部の会計処理がしっかりとできているのか、管理職がチェックすべきではないか。				
			11	光熱水費等の経費節減に努める	B	まだまだ空き教室の電気がつけっぱなし。/体育館の照明など徹底できた。/全員が同じ間隔で努める事は困難が意識の持ち方に差があると思う。/節減はされていないように感じる(特に紙や電気の使用)。/特定の部活動での印刷物・コピーが多すぎる。				
学習指導	主体的・積極的な学習態度の育成		12	授業における課題や活動によって、生徒の主体性を高めるような学習指導を行う	B	問いかけや発言の場を設けられた。もう少し時間をかけられれば良かった。/自学自習の習慣があまりついていないと思う。受験の前に伸びない(あるいは間に合わない)者が多い要因ではないか。		4	4	
			13	定期的な課題を与え、家庭学習の充実を図る	B	課題を与えなくても自主的的家庭学習に取り組める生徒を育てたい。				
			14	土曜自習教室及び長期休業中の補講授業を充実させる	B	参加人数が少なくなっている。やり方を見直す時期かと思う。/土曜自習教室は行わなくてもいいように思う。/自習教室の位置づけが難しい。よりより形で効果が上がればよいと思う。/土曜教室は人材や金銭の確保に限界あるように思う。/自習教室の参加者が少ない。				6
	効果的な授業実践と授業改善		15	生徒の実態を把握し、それに適した効果的な授業を行う	B	クラスによって質問方法を変えたりして取り組めた。				
			16	日々教材研究を行い、授業改善に努める	B	教材研究の大切さを実感できた。/委員や役割の仕事が忙しく、教材研究をしたくても時間がない先生もいる。				
	定期考査及び校内実力考査の有効活用		17	考査結果を分析・評価し、教師自身の授業改善の材料とする	B	各学年で分析はされていない。/生徒の弱い点は分かっているが改善に至っていない。復習も授業時間内ではできない。/校内実力考査の効果が上げられればよい。現状では事前指導・事後指導とも生かし切れていない。				
18			考査結果を面談等の資料として生徒と共有し、学習指導改善の材料とする	B		8				
教育課程	生徒指導四綱領「質素剛健・自重・自治」に基づく指導	モラルとマナーの向上	19	HR、集会(全校・学年)を通して、社会の一員としてのマナーを身につけさせる	C	もう少し厳しい指導を行うべきか悩んだ。/年毎に生徒のモラルの低さが感じられる。生徒指導は学校全体の教育活動の中で行うようにしたい。/19、20、社会の中でのマナーについて認識の甘い生徒がいる。	大人のマナーも悪い。他人への思いやりや気遣いが集団を通して身につけられたらよいと思う。保護者会などで、親にも現状を知らせてほしい。何でも親がしているからか、生活実感のない子どもが多くなっているのではないか。生徒の来客へのあいさつが少ない。	7	7	
			20	登下校指導を通して、通学マナーを徹底させる	B	以前より良くなっているがまだ自転車の交通マナーが悪い。/朝、通学路へ向かったりして精神的に動けました。/徹底はできていない。				
			21	東京みらいフロンティアツアーや研究室訪問、インターンシップ事業に参加させ、進路への理解を深める	B	意欲を高めるという点で有効。労力が多いので工夫して成果がより上がるとよい。				

進路指導	進路の探求	22 新たな受験指導システムを導入し、多様な進路情報を提供することで、生徒や保護者との面談を深め、充実させる	B	進路の情報が提供できていないのではないか。/Fine Systemは入ったが、一部の利用にとどまっている。/意欲を高める「しかけ」、システムとしての進路の体制づくりが必要なのかもしれない。			
		23 神戸大学へのキャンパスツアー(1学年・11月)を有効に利用し、生徒の学部・学科に対する理解を深める。	B	21、22、23、充実した。			
特色ある教育課程の充実	教育課程の検討	24 次年度に向けての教育課程を検討する	B	新カリへの検討が必要。いくつかの策を検討することで何が必要かを大きな目で考える必要がある。/「総合科学類型」についてあまり「学校」で検討がされていないように思う。			
		25 総合科学類型委員会を機能させ共通理解を図る	B	一部の教員だけに頼らず多方面の職員で機能させるべき。/総合科学類型にかかわっている教師以外の先生方の理解が得られているのか、不安である。将来学区が統合されてからでは遅すぎる。学校全体で取り組むべきである。委員会の報告文書が配布されると動きが分かりやすくなるのではないかと。/学校全体の共通理解に至っていないと感じる。/学校全体として総合科学類型をしているという意識が必要。/教名の人に任せきりで負担が大きそう。長続きするんのか気になる。「アクティブ」の取組の方向性・進路実現への舵をどうとれるかがカギ。/さらに基本的な枠組みをしっかりとらせる必要がある。			
課題教育	保健・安全教育の充実	26 保健指導プリント・保健ジャーナル等を発行し、心身の健康の自己管理能力の向上を図る	B	授業を通して健康を伝えられた。/咳が出ているのにマスクをしない教師がいる。	若者に精神疾患が増えてきており、学校でも気をつけてほしい。	9	9
		27 保健部からの情報発信や、保健指導を通じて、生徒の公衆衛生に対する意識の向上を図る	B				
		28 学校医健康相談・キャンパスカウンセリングの積極的な活用を推進する	B				
	生徒の事故対策指導	29 運動部生徒への安全講習会(6月)を実施する	B	部活動中も徹底して安全管理を行っている。/代が替わってから運動部全員に対して、オリエンテーションは6月に行っているが顧問には安全講習会を行ったとは伝えられていない。			
		30 外部団体の指導により、1年生全員と教職員を対象に、心肺蘇生法とAEDの講習会を実施する	B	授業で取り扱い、経験させられた。			
	人権教育の充実	人権意識を育てる	31 人権に関するHRを年1回以上実施し、命の大切さや人を思いやる心を育む	B	学年からの情報が伝わってこないで、判断できない。		10
国際理解教育の充実	自国や外国の歴史・文化の理解	32 講演会や映画鑑賞会を実施し、人権尊重の精神を高める	B				
		33 インターナショナルデーを生徒主体で企画・開催する	B				
環境・福祉教育の充実	学校美化・衛生意識の向上	34 松江二中との友好的な交流を推進する	B	松江二中との交流は限界がきているように思うので、もうそろそろやめてもいいのでは。/担当者への負担が多いかもしれない。	松江二中との交流は生徒にとって大変貴重な経験ができる機会となっているので、継続してほしい。		
		35 床磨き・ワックスがけ・モップによる特別清掃や、通学路を中心に学校周辺の清掃を年3回実施する	B	通学を清掃は年3回もできていない。/体育館、部室、校舎南側に部活動に伴うゴミ(古いジャージ、シューズ、カップ麺の容器等)が散乱している。部単位での美化意識の向上が必要(定期清掃日の設定対策必要)。			
図書室の積極的活用	図書室の充実	36 整美委員による清掃点検活動を実施する	B	今年の秋のクリーンアップ週間での掃除点検活動は不十分でフィードバックがなかった。/今年度はあまり実施できていないような気がする。/今年度は点検活動に目立った動きが見られなかった。			
		37 クラス読書会、PTAも参加しての全校読書会を充実させる	B	読書会も段取りの手間が多い割りに活用しきれていない気がする。	図書室をもっと充実させてほしい。		
		38 図書を充実させ、環境を整備する	B	図書予算を増やして蔵書を充実してほしい。毎日10分間読書運動などをやってみてはどうか。			
(教職員・記述)本校には2人のALTがいるが、ALTには本当に授業や教育活動で有効活用されているのか疑問である。ALTがどのような活躍をしているのか英語以外の教職員には見えてこないで、学年通信などで授業風景などを掲載するとか、何らかのかたちで発信してほしい。/行事検討委員会での修学旅行先検討がもう少し皆の意見が反映されたものになって欲しい。時期、方法なども考えて実施してほしい。/パソコンが机の上や下に置きっぱなしになっていたり、講師席を頻りに使用して後片づけをしていないなどマナーに欠ける人がいる。					(学校関係者)学校に対する思いは子どもと親とはちがう。マナーでも大人と高校生とはずれているので、指導をしていただきたい。/自己評価にAがないのが気になる。項目が多すぎるのではないかと、より重点項目を設けた方がよいのではないかと。		

5 総合評価

今年度は教職員自己評価の具体的方策(実践目標)の項目を前年度より大幅に精選し、38項目にしぼった。また初めて、「平成22年度 学校生活についての生徒アンケート」と「平成22年度 学校生活についての保護者アンケート」を実施して、自己評価項目と関連する項目を比較した。さらに、検証委員会を立ち上げ校内の様々な業務、分掌を見直した。学校をよりよくするために各分掌で挙げられた課題に対して、対策を考え取り組んでいかねばならない。

6 外部評価

学校に対する思いはそれぞれの立場で異なるが、健全な高校生を育成する場として、学力はもちろん、心身の成長にもきめ細かな指導であってほしい。

7 次年度の課題・改善策

特色選抜、複数志願による生徒を迎え、これまで以上に指導する側の価値観の多様性が求められることになった。学力向上への取り組みや生徒のマナー・モラルの向上に努め、さらなる研究と実践が必要である。生徒、保護者へのアンケートも引き続き実施することで、ニーズに応じた教育活動や特色を提供し、広報活動を充実させるために、学校説明会やHPの更新などを充実させていく必要がある。